

平成 31 年度

苫小牧市図書館協議会第 1 回臨時会 会議次第

開催日時 平成 31 年 4 月 23 日（火）午後 2 時 30 分
開催場所 苫小牧市立中央図書館 2 階講堂

1 開 会

2 挨 拶

苫小牧市教育委員会教育部 部長 瀬能 仁

3 議 事

- （1）苫小牧市図書館運営計画（案）について
- （2）警察からの捜査協力依頼に対する対応について

4 その他

5 閉 会

苫小牧市図書館運営計画（案）

2019-2023



苫小牧市立中央図書館 指定管理者 TRC 苫小牧グループ

1. 当計画の位置づけ

苫小牧市立中央図書館は 2014 年度から 2018 年度の 5 年の間、2014 年 6 月に策定された「苫小牧市図書館基本計画（以下、図書館基本計画）」を基に図書館運営してまいりました。

この「苫小牧市図書館運営計画（以下、図書館運営計画）」は、「苫小牧市総合基本計画（基本構想・第 6 次基本計画）」の部門別個別計画として、2018 年 7 月に策定された「苫小牧市図書館運営方針（以下、図書館運営方針）」を基に、指定管理者が策定した実施計画として位置付けます。なお当計画はこの「図書館運営方針」にある「第 4 章 図書館運営方針」を基にしており、2019 年度から 2023 年度の 5 年の受託期間を通じてよりよいサービスを提供してまいります。

2. 計画期間

2019 年度～2023 年度の 5 年間で定めます。

3. 基本的な考え方

図書館運営計画に掲げられる項目は以下の 4 点です。

- 運営計画 1 基礎的な図書館サービスの充実
- 運営計画 2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化
- 運営計画 3 教育的役割を重視した取組の推進
- 運営計画 4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

4. 評価について

単年度実施計画の評価方法としては、以下の 3 点において評価します。

- 1) 図書館利用者アンケート
- 2) 各計画における単年度ごとの指標を基にしたセルフモニタリング
- 3) 苫小牧市図書館協議会による評価

5. 指定管理期間における利用に関する具体的目標（中央図書館）

「図書館運営計画」において、計画期間中の具体的目標については「図書館基本計画」に設定される個別目標を参照の上、策定するものとしていますが、これは苫小牧市が市民に示す目標値として大変重要なものであります。各計画ごとの目標については項目ごとに示しますが、単年度においては全体の図書館利用増減を相対的に示す量的指標として「新規利用登録者数」「入館者数」「貸出人数」「貸出冊数」の 4 点に絞って目標設定します。

指標	現状値 (2017 年)	最終目標値 (2023 年)	説明
新規利用登録者数	2,277 人	2,350 人	5 年増加率 103.2%
入館者数	309,377 人	318,800 人	5 年増加率 103.0%
貸出人数	92,006 人	94,350 人	5 年増加率 102.5%
貸出冊数	451,748 冊	463,200 冊	5 年増加率 102.5%

運営計画1 基礎的な図書館サービスの充実

図書館運営の根幹である資料・情報収集及びその提供と保存について、今まで以上の活用と充実を図るとともに、魅力的な各種イベント、事業の開催に努めます。

また、資料・情報の提供という役割に加え、市民の居場所としての図書館づくりのために、以下の4つの充実と図書館の魅力向上に努めます。

1-1 資料・情報収集機能の充実

資料・情報収集については図書館の基礎的サービスとして最も重要なサービスととらえ、「苫小牧市資料収集基準」を基に市民のニーズに配慮しながら、バランスの取れた資料収集を図ります。

また、郷土・行政資料の充実はもちろん、商用オンラインデータベースの活用、電子書籍を含んだ電子資料の収集と活用、その他きめ細かなニーズを押さえながら、資料・情報収集機能の充実と市民の生涯学習に寄与してまいります。

具体内容
・資料収集基準に基づいた資料収集
・特徴ある資料（大活字資料・洋書資料・映像資料など）の継続収集と充実
・郷土・行政資料の継続収集と充実
・電子書籍をはじめとした電子資料の収集と充実
・選書選定委員会の設置

1-2 資料・情報提供機能の充実

図書館が市民の生涯学習を支え、課題解決を含んだ情報拠点としてあるためには、資料・情報収集だけでなく、その収集した資料・情報をいかに活用、提供していくかが肝要です。図書館はその活用推進をすすめていくための課題解決の一助として、今まで以上にレファレンスサービスを充実させ、まだこのサービスを活用したことのない市民への周知に努めてまいります。

具体内容
・参考郷土資料室の活用と周知
・レファレンスサービスの周知と充実
・電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知

1-3 資料・情報保存機能の充実

収集した資料は、北海道・苫小牧という特徴ある地域性や利用者のニーズ、時流の変化を十分考慮しながら、適切な保管に努めます。

また、時代にあった資料保存として、資料のデジタル化なども進めながら、限られたスペースの活用を図り、苫小牧市らしい資料・情報保存に努めてまいります。

具体内容
・資料の適切な管理と保存
・TRC-ADEAC を活用したデジタルコンテンツの活用
・電子図書館による地域資料の作成と活用

1-4 図書館という空間の魅力向上

図書館に求められるサービスやその機能は、時代の変遷とともに移り変わってきました。図書館として資料を揃え、提供するという図書館の重要な役割に変わりはありませんが、現在は図書館という空間を市民の憩いの場、市民が集まり交流する場としての役割が求められています。

その他図書館は課題解決の場として、市民の生涯学習の場としてはもちろん、子ども連れでも気軽に利用でき、くつろぎながら読書をし、読み聞かせのできる場といった従来の資料提供の機能に加え、今後は滞在型図書館としての図書館づくりに努めてまいります。

具体内容
・利用ニーズの把握及び運営への反映
・乳幼児・保護者のための環境整備
・障がい者のための環境整備
・高齢者のための環境整備
・フリースペースとしてのリラックススペースの活用
・外国語版利用案内の配布
・館内 ICT 拠点としての情報サロン機器更新
・書籍消毒機の更新
・子育て世代への利用配慮（子育てタイムの実施）
・リラックススペースの改修・活用

運営計画 1 における成果指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
蔵書冊数※	3.1 冊	3.2 冊	・市民のニーズに応える図書館充実度を図る指標 ・市民の資料選択の幅を示す観点から設定
郷土行政資料の蔵書冊数	33,938 冊	35,000 冊	・貴重な郷土行政資料収集及び提供数拡大を示すための指標
郷土行政資料のデジタル化点数	9,797 点	10,450 点	・貴重資料について保管及び資料アクセス拡大を示すための指標

※蔵書冊数：現状値（2017 年）は苫小牧市の蔵書冊数 526 千冊を奉仕人口 171 千人で除した数
目標値（2023 年）は苫小牧市の蔵書冊数 547 千冊を奉仕人口 170 千人で除した数

運営計画2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

市民が安心して日々の生活を送るためには、社会・生活環境の変化から発生する課題解決が必須となります。その他職業上の課題や地域課題などの解決も、円滑な生活の運営には不可欠です。現在、図書館では地域を支える拠点として従来の資料収集、資料貸出、情報提供、調べもの相談（レファレンス）等のサービスを行っておりますが、今後はそちらに加え、課題の多様化に対応し、市民の求める情報を発信し、支援機能の強化に努めてまいります。

2-1 課題解決支援

市民が自ら情報を得て、活用するための力を養うための講座の開催や、子育て、医療・健康に関することなど、人々にとって特に身近な分野に対するレファレンスの活用は、図書館の大切な役割と考えます。その他利用者の情報要求に応じるため、図書館以外の専門施設の案内・紹介するレフェラルサービスについても充実に努めてまいります。

具体内容
・レファレンスサービスの周知と充実（再掲）
・ICT を用いた情報入手の周知
・パスファインダーの作成と配布
・レファレンス技能の向上
・ICT 活用講座の継続開講とその拡充
・時節にあわせたテーマ展示（一般・児童・参考郷土）
・他市図書館との交換展示
・社内技術顧問を活用したレファレンスサービスの向上
・HP 上レファレンス受付フォームの設置
・自由研究のための図書館活用ガイドの作成・配布
・医療サービス支援としての「市民のための医学講座」コーナーの充実
・ビジネス支援コーナーの充実と活用
・セカンドライフ支援としての図書館活用ガイダンスの開催
・エンディングノート作成講座
・イクメン講座の開催
・妊婦向け絵本講座の開催
・子育て情報コーナーの開設
・自分史作成講座

2-2 地域の結びつきの再生に向けた支援

今後図書館では、従来の資料活用の機能に加え、地域の中にある人と人とが繋がる場としての図書館づくりを進めてまいります。その他専門家としての地域人材を活用した講座の開催や、地域での活動を始めたい人のための機会の提供に努めてまいります。

また、地域人材の最たるものである図書館ボランティアの方々の知識や技能を活かすための場の創出やボランティア同士、ボランティアと市民を結びつけるための工夫を行ってまいります。

具 体 内 容
・ 市民協働・外部連携の促進
・ 市内ボランティア団体との連携
・ ボランティア養成講座の開催
・ 既存ボランティア（団体・個人）の活動支援
・ 図書館文化セミナー（郷土）の開催
・ 市民協働事業の推進
・ ボードゲーム活用による交流の場の創出
・ イベント開催による交流の創出

運営計画2における成果指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
レファレンス受付 件数	7,362 件	7,500 件	・ 市民の課題解決にどれだけ寄与したか示す指標

運営計画3 教育的役割を重視した取組の推進

図書館は人々の学習活動、生涯学習の拠点として機能する社会教育施設です。この図書館に求められている教育的役割を再認識し、市及び他施設の実施する教育・生涯学習案連事業に対し、積極的に関わり、支援、連携するとともに学校図書館へのさらなる支援に努めてまいります。

3-1 子どもの読書活動の推進

子どもの情報活用能力、課題解決能力を養うためには「読解力」を高めることが肝要です。そのためには「第4次苫小牧市子どもの読書活動推進計画」を基に市及び他施設と連携し、子どもの読書活動推進へ注力し、子どもの「生きる力」の育成の一助として努めてまいります。

具体内容
・乳幼児コーナーの充実
・「赤ちゃん絵本のとびら」事業への協力と連携
・「赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば」の開催
・読書への関心を高める体験型事業の実施
・図書館文化セミナー（児童）の開催
・学校図書館支援事業
・ヤングアダルト（YA・10代利用者）サービスの周知と充実
・「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」の継続開催
・苫教研学校図書館研究部会との連携
・市内関連部署との連携
・移動図書館車による市内保育園への団体貸出
・児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」の充実
・YA 図書館交流事業
・自由研究のための図書館活用ガイドの作成・配布（再掲）
・YA 世代間の情報・交流コーナーの設置
・苫教研学校図書館研究部会研修講師派遣
・市内関連施設情報の集約と情報発信（事業マップの作成・配布）

3-2 社会で生きていくための知識・技術等の育成

成人への読書習慣の促進は、課題解決や人生の充実のためにも必要な取り組みです。図書館は今後も社会教育施設の果たすべき役割の一つとして、その推進と向上に向けた取り組みを行ってまいります。

また、市及び他施設の開催する教育・生涯学習関連事業とこれまで以上に積極的に連携し、市民の生活が充実するための取り組みを図ってまいります。

具体内容
・図書館文化セミナー（一般）の開催
・成人に向けた読書環境支援
・コーナー図書室と連携した全域サービスの展開
・市内各施設との協働・連携事業の開催
・市内ボランティア団体活動の周知
・セカンドライフ支援としての図書館活用ガイダンスの開催（再掲）

運営計画3における成果指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
児童貸出冊数 (中央図書館)	77,687 冊	79,500 冊	・子ども（0～18 歳）による図書館資料活用度を示す指標
ブックちゃん貸出 件数	142 件	180 件	・学校図書館支援事業がどれだけ実施されたか示す指標

運営計画4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

図書館は情報提供施設であるという機能、役割に加え、現代の社会情勢や市民のニーズの変化に対応する迅速かつ適切な運営が求められています。それらに対応していくためには図書館が自ら持つ人的・物的資源、予算を用い、効果的・効率的な活用を行っていくことが肝要です。

そのためには、その資源を必要に応じて変化させ、質的向上を図りながら、継続した安定的な運営を進め、魅力的な図書館づくりを行ってまいります。

4-1 効果的・効率的な図書館運営

効果的・効率的な運営を図るために、全国の図書館事例を参考にしながら、民間の持つノウハウを積極的に導入し、よりよい図書館を運営してまいります。また、利用者の個人情報の取り扱いについては十分留意することに加え、年1回の社内監査とスタッフ研修を実施するなど、継続的かつ安定的な運営を図ってまいります。

具体内容
・業務改善の実施
・個人情報保護のための取組の継続
・利用者要望の把握とその実現
・情報サロン自動受付システム導入による業務の効率化
・館内照明のLED化
・web アンケートサービスの活用

4-2 職員の知識・技術・能力の育成と継承

安定的かつ効果的、効率的な運営を行っていくためには、スタッフの育成が肝要です。図書館運営に十分寄与することのできる人材の育成のために、適正かつ幅広い内容の研修を行ってまいります。

具体内容
・接遇の向上
・専門性の向上
・郷土に関する研修の実施
・危機管理に関する意識の共有と研修の実施
・個人情報保護研修
・他市交流人事の実施

4-3 図書館サービスの周知

市民のニーズに対応した特色ある図書館サービスの周知については、様々な世代に対応した各種媒体を用いることはもちろん、機会に応じて積極的な周知に努め、図書館利用の促進に努めてまいります。

具体内容
・図書館報・市広報・新聞等を用いた情報発信の充実
・インターネットを用いた情報発信の充実
・デジタルサイネージの活用
・地域デジタルコンテンツの公開と充実
・ホームページリニューアル
・SNS 発信コーナーの創出
・町内会たより等へのサービス周知

4-4 アウトリーチの推進

図書館利用に関するニーズは多様に変化し、細分化され、図書館の積極的なアウトリーチサービスの要望が高まっています。

従来行ってきた司書派遣事業をはじめとする学校連携事業や、各施設と連携した子どもの読書推進事業のさらなる充実に努めてまいります。また、移動図書館車を用いた市内各施設へのアウトリーチサービスの推進に努め、図書館利用促進とその周知を図ってまいります。

具体内容
・要望に応じた人材の派遣（司書・図書館ボランティア、市内読み聞かせ団体などへの依頼対応）
・障害者サービスの周知
・移動図書館車を用いたアウトリーチサービス
・非来館型サービスとしての電子図書館の充実と利用促進
・市内病院との連携による情報提供の創出

運営計画 4 における成果指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
司書派遣事業件数 (年間)	11 件	15 件	・ アウトリーチサービスとして司書 がどれだけ学校図書館へ寄与出来 たか示す指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (各年度)	説明
利用者満足度	94.2%	94.3%	・ 図書館利用における質的満足度を 示す指標 ・ 各年度 94.3%の満足度を維持する ことを目標とする

2019 年度 単年度実施計画

単年度実施計画は、運営計画をもとに各年度に取り組む具体内容を示すものです。
なお達成できなかった項目については、次年度の計画へ盛り込むことを検討します。

運営計画 1 基礎的な図書館サービスの充実

1-1 資料・情報収集機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料収集基準に基づいた資料収集
	・ 特徴ある資料（大活字資料・洋書資料・映像資料など）の継続収集と充実
	・ 郷土・行政資料の継続収集と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の収集と充実
2019	・ 選書選定委員会の設置

1-2 資料・情報提供機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 参考郷土資料室の活用と周知
	・ レファレンスサービスの周知と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知

1-3 資料・情報保存機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料の適切な管理と保存
	・ TRC-ADEAC を活用したデジタルコンテンツの活用
	・ 電子図書館による地域資料の作成と活用

1-4 図書館という空間の魅力向上	
実施年度	具体内容
全期間	・ 利用ニーズの把握及び運営への反映
	・ 乳幼児・保護者のための環境整備
	・ 障がい者のための環境整備
	・ 高齢者のための環境整備
	・ フリースペースとしてのリラックススペースの活用
	・ 外国語版利用案内の配布
2019	・ 館内 ICT 拠点としての情報サロン機器更新
	・ 書籍消毒機の更新
	・ 子育て世代への利用配慮（子育てタイムの実施）

運営計画2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

2-1 課題解決支援	
実施年度	具体内容
全期間	・レファレンスサービスの周知と充実（再掲）
	・ICTを用いた情報入手の周知
	・パスファインダーの作成と配布
	・レファレンス技能の向上
	・ICT活用講座の継続開講とその拡充
	・時節にあわせたテーマ展示（一般・児童・参考郷土）
	・他市図書館との交換展示
2019	・社内技術顧問を活用したレファレンスサービスの向上

2-2 地域の結びつきの再生に向けた支援	
実施年度	具体内容
全期間	・市民協働・外部連携の促進
	・市内ボランティア団体との連携
	・ボランティア養成講座の開催
	・既存ボランティア（団体・個人）の活動支援
	・図書館文化セミナー（郷土）の開催
	・市民協働事業の推進

運営計画3 教育的役割を重視した取組の推進

3-1 子どもの読書活動の推進	
実施年度	具体内容
全期間	・乳幼児コーナーの充実
	・「赤ちゃん絵本のとびら」事業への協力と連携
	・「赤ちゃんと一緒に楽しむ絵本ひろば」の開催
	・読書への関心を高める体験型事業の実施
	・図書館文化セミナー（児童）の開催
	・学校図書館支援事業
	・ヤングアダルト（YA・10代利用者）サービスの周知と充実
	・「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」の継続開催
	・苫小牧市立学校図書館研究部会との連携
	・市内関連部署との連携
	・移動図書館車による市内保育園への団体貸出
	・児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」の充実

2019	・YA 図書館交流事業
------	-------------

3-2 社会で生きていくための知識・技術等の育成	
実施年度	具体内容
全期間	・図書館文化セミナー（一般）の開催
	・成人に向けた読書環境支援
	・コーナー図書室と連携した全域サービスの展開
	・市内各施設との協働・連携事業の開催
2019	・市内ボランティア団体活動の周知

運営計画4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

4-1 効果的・効率的な図書館運営	
実施年度	具体内容
全期間	・業務改善の実施
	・個人情報保護のための取組の継続
	・利用者要望の把握とその実現
2019	・情報サロン自動受付システム導入による業務の効率化
	・館内照明のLED化

4-2 職員の知識・技術・能力の育成と継承	
実施年度	具体内容
全期間	・接遇の向上
	・専門性の向上
	・郷土に関する研修の実施
	・危機管理に関する意識の共有と研修の実施
	・個人情報保護研修

4-3 図書館サービスの周知	
実施年度	具体内容
全期間	・図書館報・市広報・新聞等を用いた情報発信の充実
	・インターネットを用いた情報発信の充実
	・デジタルサイネージの活用
	・地域デジタルコンテンツの公開と充実
2019	・ホームページリニューアル

4-4 アウトリーチの推進	
実施年度	具体内容
全期間	・要望に応じた人材の派遣（司書・図書館ボランティア、市内読み聞かせ団体などへの依頼対応）
	・障害者サービスの周知
	・移動図書館車を用いたアウトリーチサービス
	・非来館型サービスとしての電子図書館の充実と利用促進
2019	・市内病院との連携による情報提供の創出

運営計画 1 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2019 年)	説明
蔵書冊数	5 年間で目標達成とするため、単年度の成果指標としては使用せず。		・市民のニーズに応える図書館充実度を図る指標 ・市民の資料選択の幅を示す観点から設定
郷土行政資料の蔵書冊数	33,938 冊	34,150 冊	・貴重な郷土行政資料収集及び提供数拡大を示すための指標
郷土行政資料のデジタル化点数	9,797 点	9,928 点	・貴重資料について保管及び資料アクセス拡大を示すための指標

運営計画 2 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2019 年)	説明
レファレンス受付件数	7,362 件	7,390 件	・市民の課題解決にどれだけ寄与したか示す指標

運営計画 3 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2019 年)	説明
児童貸出冊数 (中央図書館)	77,687 冊	78,050 冊	・子ども（0～18 歳）による図書館資料活用度を示す指標

ブックちゃん貸出 件数	142 件	150 件	・ 学校図書館支援事業がどれだけ実施 されたか示す指標
----------------	-------	-------	--------------------------------

運営計画 4 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2019 年)	説明
司書派遣事業件数 (年間)	11 件	11 件	・ アウトリーチサービスとして司書が どれだけ学校図書館へ寄与出来たか 示す指標
利用者満足度	94.2%	94.3%	・ 図書館利用における質的満足度を示 す指標

2019 年度 単年度目標

単年度指標 毎年	現状値 (2017 年)	単年度目標値 (2019 年)	説明
新規利用登録者数	2,277 人	2,292 人	現状値増加率 100.6%
入館者数	309,377 人	311,262 人	現状値増加率 100.6%
貸出人数	92,006 人	92,475 人	現状値増加率 100.5%
貸出冊数	451,748 冊	454,038 冊	現状値増加率 100.5%

2020 年度 単年度実施計画（案）

単年度実施計画は、運営計画をもとに各年度に取り組む具体内容を示すものです。
なお達成できなかった項目については、次年度の計画へ盛り込むことを検討します。

運営計画 1 基礎的な図書館サービスの充実

1-1 資料・情報収集機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料収集基準に基づいた資料収集
	・ 特徴ある資料（大活字資料・洋書資料・映像資料など）の継続収集と充実
	・ 郷土・行政資料の継続収集と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の収集と充実

1-2 資料・情報提供機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 参考郷土資料室の活用と周知
	・ レファレンスサービスの周知と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知

1-3 資料・情報保存機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料の適切な管理と保存
	・ TRC-ADEAC を活用したデジタルコンテンツの活用
	・ 電子図書館による地域資料の作成と活用

1-4 図書館という空間の魅力向上	
実施年度	具体内容
全期間	・ 利用ニーズの把握及び運営への反映
	・ 乳幼児・保護者のための環境整備
	・ 障がい者のための環境整備
	・ 高齢者のための環境整備
	・ フリースペースとしてのリラックススペースの活用
	・ 外国語版利用案内の配布
2020	・ リラックススペースの改修・活用

運営計画2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

2-1 課題解決支援	
実施年度	具体内容
全期間	・レファレンスサービスの周知と充実（再掲）
	・ICTを用いた情報入手の周知
	・パスファインダーの作成と配布
	・レファレンス技能の向上
	・ICT活用講座の継続開講とその拡充
	・時節にあわせたテーマ展示（一般・児童・参考郷土）
	・他市図書館との交換展示
2020	・HP上レファレンス受付フォームの設置
	・自由研究のための図書館活用ガイドの作成・配布

2-2 地域の結びつきの再生に向けた支援	
実施年度	具体内容
全期間	・市民協働・外部連携の促進
	・市内ボランティア団体との連携
	・ボランティア養成講座の開催
	・既存ボランティア（団体・個人）の活動支援
	・図書館文化セミナー（郷土）の開催
	・市民協働事業の推進
2020	・ボードゲーム活用による交流の場の創出

運営計画3 教育的役割を重視した取組の推進

3-1 子どもの読書活動の推進	
実施年度	具体内容
全期間	・乳幼児コーナーの充実
	・「赤ちゃん絵本のとびら」事業への協力と連携
	・「赤ちゃんと一緒に楽しむ絵本ひろば」の開催
	・読書への関心を高める体験型事業の実施
	・図書館文化セミナー（児童）の開催
	・学校図書館支援事業
	・ヤングアダルト（YA・10代利用者）サービスの周知と充実
	・「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」の継続開催
	・苫小牧市立学校図書館研究部会との連携
	・市内関連部署との連携

全期間	・ 移動図書館車による市内保育園への団体貸出
	・ 児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」の充実
2020	・ 自由研究のための図書館活用ガイドの作成・配布（再掲）

3-2 社会で生きていくための知識・技術等の育成

実施年度	具体内容
全期間	・ 図書館文化セミナー（一般）の開催
	・ 成人に向けた読書環境支援
	・ コーナー図書室と連携した全域サービスの展開
	・ 市内各施設との協働・連携事業の開催

運営計画 4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

4-1 効果的・効率的な図書館運営

実施年度	具体内容
全期間	・ 業務改善の実施
	・ 個人情報保護のための取組の継続
	・ 利用者要望の把握とその実現
2020	・ web アンケートサービスの活用

4-2 職員の知識・技術・能力の育成と継承

実施年度	具体内容
全期間	・ 接遇の向上
	・ 専門性の向上
	・ 郷土に関する研修の実施
	・ 危機管理に関する意識の共有と研修の実施
	・ 個人情報保護研修

4-3 図書館サービスの周知

実施年度	具体内容
全期間	・ 図書館報・市広報・新聞等を用いた情報発信の充実
	・ インターネットを用いた情報発信の充実
	・ デジタルサイネージの活用
	・ 地域デジタルコンテンツの公開と充実

4-4 アウトリーチの推進	
実施年度	具体内容
全期間	・要望に応じた人材の派遣（司書・図書館ボランティア、市内読み聞かせ団体などへの依頼対応）
	・障害者サービスの周知
	・移動図書館車を用いたアウトリーチサービス
	・非来館型サービスとしての電子図書館の充実と利用促進

運営計画 1 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2020 年)	説明
蔵書冊数	5 年間で目標達成とするため、単年度の成果指標としては使用せず。		・市民のニーズに応える図書館充実度を図る指標 ・市民の資料選択の幅を示す観点から設定
郷土行政資料の蔵書冊数	33,938 冊	34,363 冊	・貴重な郷土行政資料収集及び提供数拡大を示すための指標
郷土行政資料のデジタル化点数	9,797 点	100,58 点	・貴重資料について保管及び資料アクセス拡大を示すための指標

運営計画 2 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2020 年)	説明
レファレンス受付件数	7,362 件	7,417 件	・市民の課題解決にどれだけ寄与したか示す指標

運営計画 3 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2020 年)	説明
児童貸出冊数 (中央図書館)	77,687 冊	78,412 冊	・子ども（0～18 歳）による図書館資料活用度を示す指標
ブックちゃん貸出件数	142 件	157 件	・学校図書館支援事業がどれだけ実施されたか示す指標

運営計画 4 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2020 年)	説明
司書派遣事業件数 (年間)	11 件	12 件	・アウトリーチサービスとして司書が どれだけ学校図書館へ寄与出来たか 示す指標
利用者満足度	94.2%	94.3%	・図書館利用における質的満足度を示 す指標

2020 年度 単年度目標

単年度指標 毎年	現状値 (2017 年)	単年度目標値 (2020 年)	説明
新規利用登録者数	2,277 人	2,306 人	現状値増加率 101.3%
入館者数	309,377 人	313,146 人	現状値増加率 101.2%
貸出人数	92,006 人	92,944 人	現状値増加率 101.0%
貸出冊数	451,748 冊	456,329 冊	現状値増加率 101.0%

2021 年度 単年度実施計画（案）

単年度実施計画は、運営計画をもとに各年度に取り組む具体内容を示すものです。
なお達成できなかった項目については、次年度の計画へ盛り込むことを検討します。

運営計画 1 基礎的な図書館サービスの充実

1-1 資料・情報収集機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料収集基準に基づいた資料収集
	・ 特徴ある資料（大活字資料・洋書資料・映像資料など）の継続収集と充実
	・ 郷土・行政資料の継続収集と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の収集と充実

1-2 資料・情報提供機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 参考郷土資料室の活用と周知
	・ レファレンスサービスの周知と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知

1-3 資料・情報保存機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料の適切な管理と保存
	・ TRC-ADEAC を活用したデジタルコンテンツの活用
	・ 電子図書館による地域資料の作成と活用

1-4 図書館という空間の魅力向上	
実施年度	具体内容
全期間	・ 利用ニーズの把握及び運営への反映
	・ 乳幼児・保護者のための環境整備
	・ 障がい者のための環境整備
	・ 高齢者のための環境整備
	・ フリースペースとしてのリラックススペースの活用
	・ 外国語版利用案内の配布

運営計画2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

2-1 課題解決支援	
実施年度	具体内容
全期間	・レファレンスサービスの周知と充実（再掲）
	・ICTを用いた情報入手の周知
	・パスファインダーの作成と配布
	・レファレンス技能の向上
	・ICT活用講座の継続開講とその拡充
	・時節にあわせたテーマ展示（一般・児童・参考郷土）
	・他市図書館との交換展示
2021	・医療サービス支援としての「市民のための医学講座」コーナーの充実
	・ビジネス支援コーナーの充実と活用
	・セカンドライフ支援としての図書館活用ガイダンスの開催

2-2 地域の結びつきの再生に向けた支援	
実施年度	具体内容
全期間	・市民協働・外部連携の促進
	・市内ボランティア団体との連携
	・ボランティア養成講座の開催
	・既存ボランティア（団体・個人）の活動支援
	・図書館文化セミナー（郷土）の開催
	・市民協働事業の推進

運営計画3 教育的役割を重視した取組の推進

3-1 子どもの読書活動の推進	
実施年度	具体内容
全期間	・乳幼児コーナーの充実
	・「赤ちゃん絵本のとびら」事業への協力と連携
	・「赤ちゃんと一緒に楽しむ絵本ひろば」の開催
	・読書への関心を高める体験型事業の実施
	・図書館文化セミナー（児童）の開催
	・学校図書館支援事業
	・ヤングアダルト（YA・10代利用者）サービスの周知と充実
	・「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」の継続開催
	・苫小牧市立学校図書館研究部会との連携
	・市内関連部署との連携

全期間	・移動図書館車による市内保育園への団体貸出
	・児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」の充実
2021	・YA 世代間の情報・交流コーナーの設置

3-2 社会で生きていくための知識・技術等の育成

実施年度	具体内容
全期間	・図書館文化セミナー（一般）の開催
	・成人に向けた読書環境支援
	・コーナー図書室と連携した全域サービスの展開
	・市内各施設との協働・連携事業の開催
2021	・セカンドライフ支援としての図書館活用ガイダンスの開催（再掲）

運営計画4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

4-1 効果的・効率的な図書館運営

実施年度	具体内容
全期間	・業務改善の実施
	・個人情報保護のための取組の継続
	・利用者要望の把握とその実現

4-2 職員の知識・技術・能力の育成と継承

実施年度	具体内容
全期間	・接遇の向上
	・専門性の向上
	・郷土に関する研修の実施
	・危機管理に関する意識の共有と研修の実施
	・個人情報保護研修

4-3 図書館サービスの周知

実施年度	具体内容
全期間	・図書館報・市広報・新聞等を用いた情報発信の充実
	・インターネットを用いた情報発信の充実
	・デジタルサイネージの活用
	・地域デジタルコンテンツの公開と充実
2021	・SNS 発信コーナーの創出

4-4 アウトリーチの推進	
全期間	・要望に応じた人材の派遣（司書・図書館ボランティア、市内読み聞かせ団体などへの依頼対応）
	・障害者サービスの周知
	・移動図書館車を用いたアウトリーチサービス
	・非来館型サービスとしての電子図書館の充実と利用促進

運営計画 1 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2021 年)	説明
蔵書冊数	5 年間で目標達成とするため、単年度の成果指標としては使用せず。		・市民のニーズに応える図書館充実度を図る指標 ・市民の資料選択の幅を示す観点から設定
郷土行政資料の蔵書冊数	33,938 冊	34,575 冊	・貴重な郷土行政資料収集及び提供数拡大を示すための指標
郷土行政資料のデジタル化点数	9,797 点	10,189 点	・貴重資料について保管及び資料アクセス拡大を示すための指標

運営計画 2 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2021 年)	説明
レファレンス受付件数	7,362 件	7,445 件	・市民の課題解決にどれだけ寄与したか示す指標

運営計画 3 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2021 年)	説明
児童貸出冊数 (中央図書館)	77,687 冊	78,775 冊	・子ども (0～18 歳) による図書館資料活用度を示す指標
ブックちゃん貸出 件数	142 件	163 件	・学校図書館支援事業がどれだけ実施されたか示す指標

運営計画 4 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2021 年)	説明
司書派遣事業件数 (年間)	11 件	13 件	・アウトリーチサービスとして司書がどれだけ学校図書館へ寄与出来たか示す指標
利用者満足度	94.2%	94.3%	・図書館利用における質的満足度を示す指標

2021 年度 単年度目標

単年度指標 毎年	現状値 (2017 年)	単年度目標値 (2021 年)	説明
新規利用登録者数	2,277 人	2,321 人	現状値増加率 101.9%
入館者数	309,377 人	315,031 人	現状値増加率 101.8%
貸出人数	92,006 人	93,412 人	現状値増加率 101.5%
貸出冊数	451,748 冊	458,619 冊	現状値増加率 101.5%

2022 年度 単年度実施計画（案）

単年度実施計画は、運営計画をもとに各年度に取り組む具体内容を示すものです。
なお達成できなかった項目については、次年度の計画へ盛り込むことを検討します。

運営計画 1 基礎的な図書館サービスの充実

1-1 資料・情報収集機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料収集基準に基づいた資料収集
	・ 特徴ある資料（大活字資料・洋書資料・映像資料など）の継続収集と充実
	・ 郷土・行政資料の継続収集と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の収集と充実

1-2 資料・情報提供機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 参考郷土資料室の活用と周知
	・ レファレンスサービスの周知と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知

1-3 資料・情報保存機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料の適切な管理と保存
	・ TRC-ADEAC を活用したデジタルコンテンツの活用
	・ 電子図書館による地域資料の作成と活用

1-4 図書館という空間の魅力向上	
実施年度	具体内容
全期間	・ 利用ニーズの把握及び運営への反映
	・ 乳幼児・保護者のための環境整備
	・ 障がい者のための環境整備
	・ 高齢者のための環境整備
	・ フリースペースとしてのリラックススペースの活用
	・ 外国語版利用案内の配布

運営計画2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

2-1 課題解決支援	
実施年度	具体内容
全期間	・レファレンスサービスの周知と充実（再掲）
	・ICTを用いた情報入手の周知
	・パスファインダーの作成と配布
	・レファレンス技能の向上
	・ICT活用講座の継続開講とその拡充
	・時節にあわせたテーマ展示（一般・児童・参考郷土）
	・他市図書館との交換展示
2022	・エンディングノート作成講座
	・イクメン講座の開催

2-2 地域の結びつきの再生に向けた支援	
実施年度	具体内容
全期間	・市民協働・外部連携の促進
	・市内ボランティア団体との連携
	・ボランティア養成講座の開催
	・既存ボランティア（団体・個人）の活動支援
	・図書館文化セミナー（郷土）の開催
	・市民協働事業の推進
2022	・イクメン講座開催による交流の創出

運営計画3 教育的役割を重視した取組の推進

3-1 子どもの読書活動の推進	
実施年度	具体内容
全期間	・乳幼児コーナーの充実
	・「赤ちゃん絵本のとびら」事業への協力と連携
	・「赤ちゃんと一緒に楽しむ絵本ひろば」の開催
	・読書への関心を高める体験型事業の実施
	・図書館文化セミナー（児童）の開催
	・学校図書館支援事業
	・ヤングアダルト（YA・10代利用者）サービスの周知と充実
	・「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」の継続開催
	・苫小牧市立学校図書館研究部会との連携
	・市内関連部署との連携

全期間	・ 移動図書館車による市内保育園への団体貸出
	・ 児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」の充実
2022	・ 苫教研学校図書館研究部会研修講師派遣

3-2 社会で生きていくための知識・技術等の育成

実施年度	具体内容
全期間	・ 図書館文化セミナー（一般）の開催
	・ 成人に向けた読書環境支援
	・ コーナー図書室と連携した全域サービスの展開
	・ 市内各施設との協働・連携事業の開催

運営計画 4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

4-1 効果的・効率的な図書館運営

実施年度	具体内容
全期間	・ 業務改善の実施
	・ 個人情報保護のための取組の継続
	・ 利用者要望の把握とその実現

4-2 職員の知識・技術・能力の育成と継承

実施年度	具体内容
全期間	・ 接遇の向上
	・ 専門性の向上
	・ 郷土に関する研修の実施
	・ 危機管理に関する意識の共有と研修の実施
	・ 個人情報保護研修

4-3 図書館サービスの周知

実施年度	具体内容
全期間	・ 図書館報・市広報・新聞等を用いた情報発信の充実
	・ インターネットを用いた情報発信の充実
	・ デジタルサイネージの活用
	・ 地域デジタルコンテンツの公開と充実
2022	・ 町内会だより等へのサービス周知

4-4 アウトリーチの推進	
実施年度	具体内容
全期間	・要望に応じた人材の派遣（司書・図書館ボランティア、市内読み聞かせ団体などへの依頼対応）
	・障害者サービスの周知
	・移動図書館車を用いたアウトリーチサービス
	・非来館型サービスとしての電子図書館の充実と利用促進

運営計画 1 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2022 年)	説明
蔵書冊数	5 年間で目標達成とするため、単年度の成果指標としては使用せず。		・市民のニーズに応える図書館充実度を図る指標 ・市民の資料選択の幅を示す観点から設定
郷土行政資料の蔵書冊数	33,938 冊	34,788 冊	・貴重な郷土行政資料収集及び提供数拡大を示すための指標
郷土行政資料のデジタル化点数	9,797 点	10,319 点	・貴重資料について保管及び資料アクセス拡大を示すための指標

運営計画 2 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2022 年)	説明
レファレンス受付件数	7,362 件	7,472 件	・市民の課題解決にどれだけ寄与したか示す指標

運営計画 3 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2022 年)	説明
児童貸出冊数 (中央図書館)	77,687 冊	79,137 冊	・子ども（0～18 歳）による図書館資料活用度を示す指標

ブックちゃん貸出 件数	142 件	172 件	・ 学校図書館支援事業がどれだけ実施 されたか示す指標
----------------	-------	-------	--------------------------------

運営計画 4 における成果指標（単年度）

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2022 年)	説明
司書派遣事業件数 (年間)	11 件	14 件	・ アウトリーチサービスとして司書が どれだけ学校図書館へ寄与出来たか 示す指標
利用者満足度	94.2%	94.3%	・ 図書館利用における質的満足度を示 す指標

2022 年度 単年度目標

単年度指標 毎年	現状値 (2017 年)	単年度目標値 (2022 年)	説明
新規利用登録者数	2,277 人	2,335 人	現状値増加率 102.6%
入館者数	309,377 人	316,915 人	現状値増加率 102.4%
貸出人数	92,006 人	93,881 人	現状値増加率 102.0%
貸出冊数	451,748 冊	460,910 冊	現状値増加率 102.0%

2023 年度 単年度実施計画（案）

単年度実施計画は、運営計画をもとに各年度に取り組む具体内容を示すものです。
なお達成できなかった項目については、次年度の計画へ盛り込むことを検討します。

運営計画 1 基礎的な図書館サービスの充実

1-1 資料・情報収集機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料収集基準に基づいた資料収集
	・ 特徴ある資料（大活字資料・洋書資料・映像資料など）の継続収集と充実
	・ 郷土・行政資料の継続収集と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の収集と充実

1-2 資料・情報提供機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 参考郷土資料室の活用と周知
	・ レファレンスサービスの周知と充実
	・ 電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知

1-3 資料・情報保存機能の充実	
実施年度	具体内容
全期間	・ 資料の適切な管理と保存
	・ TRC-ADEAC を活用したデジタルコンテンツの活用
	・ 電子図書館による地域資料の作成と活用

1-4 図書館という空間の魅力向上	
実施年度	具体内容
全期間	・ 利用ニーズの把握及び運営への反映
	・ 乳幼児・保護者のための環境整備
	・ 障がい者のための環境整備
	・ 高齢者のための環境整備
	・ フリースペースとしてのリラックススペースの活用
	・ 外国語版利用案内の配布

運営計画2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

2-1 課題解決支援	
実施年度	具体内容
全期間	・レファレンスサービスの周知と充実（再掲）
	・ICTを用いた情報入手の周知
	・パスファインダーの作成と配布
	・レファレンス技能の向上
	・ICT活用講座の継続開講とその拡充
	・時節にあわせたテーマ展示（一般・児童・参考郷土）
	・他市図書館との交換展示
2023	・妊婦向け絵本講座の開催
	・子育て情報コーナーの開設
	・自分史作成講座

2-2 地域の結びつきの再生に向けた支援	
実施年度	具体内容
全期間	・市民協働・外部連携の促進
	・市内ボランティア団体との連携
	・ボランティア養成講座の開催
	・既存ボランティア（団体・個人）の活動支援
	・図書館文化セミナー（郷土）の開催
	・市民協働事業の推進

運営計画3 教育的役割を重視した取組の推進

3-1 子どもの読書活動の推進	
実施年度	具体内容
全期間	・乳幼児コーナーの充実
	・「赤ちゃん絵本のとびら」事業への協力と連携
	・「赤ちゃんと一緒に楽しむ絵本ひろば」の開催
	・読書への関心を高める体験型事業の実施
	・図書館文化セミナー（児童）の開催
	・学校図書館支援事業
	・ヤングアダルト（YA・10代利用者）サービスの周知と充実
	・「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」の継続開催
	・苫小牧市図書館研究部会との連携
	・市内関連部署との連携

全期間	・移動図書館車による市内保育園への団体貸出
	・児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」の充実
2023	・市内関連施設情報の集約と情報発信（事業マップの作成・配布）

3-2 社会で生きていくための知識・技術等の育成

実施年度	具体内容
全期間	・図書館文化セミナー（一般）の開催
	・成人に向けた読書環境支援
	・コーナー図書室と連携した全域サービスの展開
	・市内各施設との協働・連携事業の開催

運営計画4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

4-1 効果的・効率的な図書館運営

実施年度	具体内容
全期間	・業務改善の実施
	・個人情報保護のための取組の継続
	・利用者要望の把握とその実現

4-2 職員の知識・技術・能力の育成と継承

実施年度	具体内容
全期間	・接遇の向上
	・専門性の向上
	・郷土に関する研修の実施
	・危機管理に関する意識の共有と研修の実施
	・個人情報保護研修
2023	・他市交流人事の実施

4-3 図書館サービスの周知

実施年度	具体内容
全期間	・図書館報・市広報・新聞等を用いた情報発信の充実
	・インターネットを用いた情報発信の充実
	・デジタルサイネージの活用
	・地域デジタルコンテンツの公開と充実

4-4 アウトリーチの推進	
実施年度	具体内容
全期間	・要望に応じた人材の派遣（司書・図書館ボランティア、市内読み聞かせ団体などへの依頼対応）
	・障害者サービスの周知
	・移動図書館車を用いたアウトリーチサービス
	・非来館型サービスとしての電子図書館の充実と利用促進

運営計画 1 における成果指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
蔵書冊数	5 年間で目標達成とするため、単年度の成果指標としては使用せず。		・市民のニーズに応える図書館充実度を図る指標 ・市民の資料選択の幅を示す観点から設定
郷土行政資料の蔵書冊数	33,938 冊	35,000 冊	・貴重な郷土行政資料収集及び提供数拡大を示すための指標
郷土行政資料のデジタル化点数	9,797 点	10,450 点	・貴重資料について保管及び資料アクセス拡大を示すための指標

運営計画 2 における成果指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
レファレンス受付件数	7,362 件	7,500 件	・市民の課題解決にどれだけ寄与したか示す指標

運営計画 3 における成果指標

指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
児童貸出冊数 (中央図書館)	77,687 冊	79,500 冊	・子ども（0～18 歳）による図書館資料活用度を示す指標
ブックちゃん貸出件数	142 件	180 件	・学校図書館支援事業がどれだけ実施されたか示す指標

運営計画 4 における成果指標

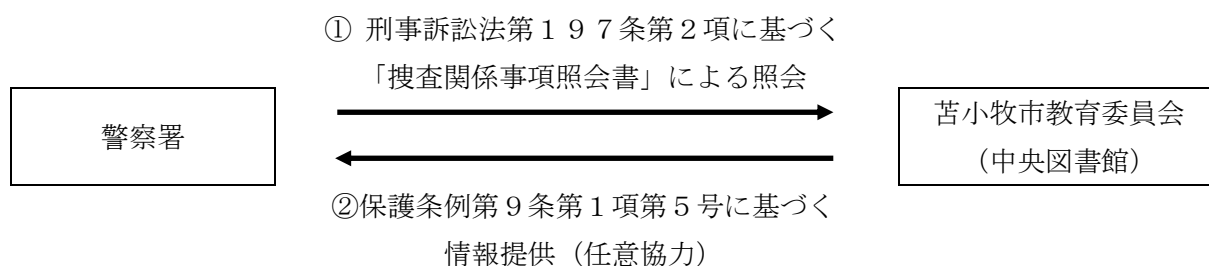
指標	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
司書派遣事業件数 (年間)	11 件	15 件	・アウトリーチサービスとして司書が どれだけ学校図書館へ寄与出来たか 示す指標
利用者満足度	94.2%	94.3%	・図書館利用における質的満足度を示 す指標

2023 年度目標（最終年度）

単年度指標 毎年	現状値 (2017 年)	目標値 (2023 年)	説明
新規利用登録者数	2,277 人	2,350 人	現状値増加率 103.2%
入館者数	309,377 人	318,800 人	現状値増加率 103.0%
貸出人数	92,006 人	94,350 人	現状値増加率 102.5%
貸出冊数	451,748 冊	463,200 冊	現状値増加率 102.5%

刑事訴訟法第 197 条第 2 項に基づく警察からの捜査協力依頼に対する対応について

警察から刑事訴訟法第 197 条第 2 項に基づく捜査関係事項照会書による照会があった場合に、苫小牧市個人情報保護条例（以下「保護条例」という。）第 9 条第 1 項第 5 号の取扱い基準に合致している場合の対応について以下のとおり取り扱うものとする。



1 中央図書館が保有している主な個人情報等

(1) システム管理している主な情報

- ① 図書カード所有者の住所、氏名、生年月日、性別、電話番号、メールアドレス、データ登録日等
 - ② 貸出中の図書等に関する書名、貸出日時、貸出場所、返却期限等
 - ③ 予約図書等に関する書名、予約日時、予約場所、予約方法、貸出予定日、貸出予定場所等
 - ④ 所蔵資料の書名、著者名、出版者、出版年月、所蔵館、貸出回数、資料予約者氏名、予約人数、予約順位等
 - ⑤ 前回、前々回貸出者の返却日時、返却者氏名等（資料返却者検索からのみ検索可能）
- ※ 汚破損があった場合に資料の状態を確認するため保有している

(2) システム管理していない主な情報

- ① 住所、氏名、電話番号（ボランティア登録者、複写依頼申込者、団体登録代表者等）
- ② 申請日（予約申込日（資料未所蔵の場合）、複写依頼申込日、施設利用申込日等）
- ③ 中央図書館施設貸出状況（団体名、利用日時、利用場所等）
- ④ 防犯カメラ録画映像

2 刑事訴訟法第 197 条第 2 項に基づく捜査協力依頼に対して提供する情報

図書館では、様々な情報を保有しているが、特定の個人が図書館を利用した事実に基づく情報について、警察への情報提供に応じるものとする。

(1) 図書館利用登録の有無

(2) システム管理している特定の個人の図書館利用日時・場所

- ① 利用日時に含まれる情報 資料の予約日時、予約方法（窓口、電子メール等）、貸出日時、返却期限、データ登録日、図書カード発行日
- ② 利用場所に含まれる情報 予約館、貸出館、データ登録館、図書カード発行館

(3) システム管理していない特定の個人の図書館利用日時・場所

① 利用日時に含まれる情報 利用日（※1）、申請方法（窓口、FAX等）

※1 利用事実のみ情報提供することとし、帳票等の記載内容は提供しないものとする。

3 情報提供に応じないものの例

- (1) 特定の個人の情報ではないもの（保護者氏名、代理人氏名等）
- (2) 図書システム上、特定の個人から検索することができない情報（貸出冊数等）
- (3) 書名に関する情報
- (4) 将来に關することて事実に基づかない情報（予約時の貸出可能日等）

4 留意事項

- (1) 保護条例第9条第1項第1号から第4号に基づき情報提供については、保護条例第9条第1項第5号に基づき情報提供とは別に対応する。
- (2) 警察からの照会、警察への情報提供については、苫小牧市教育委員会が直接対応することとし、中央図書館から直接情報提供は行わないこととする。
- (3) 住所が異なる等の不一致がある場合は、情報提供を行わないこととする。
- (4) 図書館利用団体に属する特定の個人の利用日時（団体利用日に来館していたのか）を求められた場合は、書面等で特定の個人が来館しているか確認することができないことから、情報提供を行わないこととする。
- (5) 防犯カメラの映像には、不特定多数の利用者が映っていることからデータの提供は行わないこととする。
- (6) 図書館利用者が他の利用者等に危害を及ぼす可能性がある場合は、この取扱いと別に対応する。

情報提供に応じる一覧リスト

【図書館システムに登録されている情報】

No.	情報項目一覧	データ 保有期間	個人検索から表示 可能な情報 (図書システム)	備 考
-----	--------	-------------	-------------------------------	-----

＜利用者データ＞

1	データ登録日	利用者データを 削除するまで	○	
2	データ登録館		○	
3	カード発行日		○	
4	カード発行館		○	
5	カード再発行日		○	
6	カード発行回数		○	
7	最終利用日		○	最後に資料を借りた日

＜資料データ＞

8	貸出日時	資料の 返却まで	貸出中のみ	
9	貸出館		〃	
10	返却期限		〃	
11	予約受付日時	資料の 貸出まで	予約中のみ	
12	予約受付館		〃	
13	予約受付方法		〃	Web・窓口等

【図書館システムに登録されていない情報】

No.	情報項目一覧	帳票 保存期間		備 考
1	利用日	当日から 1年程度		申請書類によって帳票の保存期間は異なる
2	申請方法			来館・FAX等